

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和2年度分）

施設	名称	栃木市大平勤労青少年ホーム
	所在地	栃木市大平町蔵井2002-1
	施設内容	青少年ホーム
指定管理者	名称	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体
	所在地	栃木市大平町伯仲2691
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス (清掃・設備管理・警備保安管理に関する業務)

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	アンケート数			240件(2回)	149件(2回)		
	利用者意見反映			3件	3件		
	利用案内掲示数			3ヶ所	3ヶ所		
	利用者利用満足度			80%	95.9%		
	新規講座の開設			1講座	1講座		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書を明文化し職員に配布。運営の基本方針に基づき、業務を行いました。 ・関連団体や地域自治会等に施設の無料開放を行いました。(コロナ禍に依りイベントが中止でした。) ・平等性確保の為、公募2週間後に受付開始しました。 ・講座やイベント終了後アンケートを実施し、利用者の意見を把握し講座やイベント、施設改善に役立てました。 ・ホームの玄関、1階と2階フリースペースに利用案内を掲示したり、目安箱を設置し要望や苦情を迅速に対応し優先順位を把握し所管課への報告や相談をして解決しました。 ・①新規講座を増やして欲しいとの要望があり対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> a リカバリーヨガ講座開設しました。 ・②下記の通り意見要望への対応をしました。 <ul style="list-style-type: none"> a 男子トイレのフラッシングバルブ交換修理を実施しました。 b 玄関軒先モルタル剥がれ有り落下の危険が有るとの意見により、補修工事を実施しました。 						
	施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度に関しては、計画値の80%を大きく上回る95.9%であり、利用者が満足できるサービスを提供できている。 ・アンケート実施数は計画値に届かなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や利用制限があったためやむを得ない。 ・講座の受付開始を公募の2週間後に設定し、平等性を確保した。 ・利用者アンケートや目安箱の設置により、利用者の意見や要望の把握に努めている。また、施設の修理や新規講座の開設等、利用者からの意見を施設運営に反映させている。 					

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	登録利用者数		6,000人	3,219人			
	広報誌発行部数		2,000部	1,880部			
	婚活事業数		3回	0回			
	イベント実施数		5回	1回			
	栃木市広報誌への掲載		6回	6回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、ホーム年間カレンダー通り開館しました。尚、新型コロナ影響に依る閉館指導にも対応しました。イベントは、栃木ホーム交流スポーツ大会に17名参加しました。 ※その他のイベントは、新型コロナにより中止になりました。 ・広報とちぎへの掲載の他、市内の勤労青少年の集いそうな公共施設に講座案内チラシを配布して広報活動に努めました。 ・婚活イベントとしまして3回企画を立案しましたが、新型コロナにより中止になりました。 ・県や市、各種団体との事業への参加協力、近隣の栃木ホームとの交流会やスポーツイベントへも参加し交流を深めました。 ・就労支援を第1・第3土曜日と第2・第4月曜日に、若者の自立支援に向けて就労相談を実施しました。（就労決定1名） 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は計画値に届いていないが、新型コロナウイルス感染症の影響による休館や利用制限があったためやむを得ない。 ・広報誌の発行や、広報とちぎへの掲載等は概ね計画値どおり実施できている。 ・ホームページの運用に関しては、年間での更新数が6回と少なく感じるので、積極的に情報の発信をしてほしい。 ・Facebookやラインを使っでの広報や、利用者への情報提供を行うなど、工夫をしている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの実施は、体育センター、栃木勤労青少年ホーム、大平勤労青少年ホームの共同で行ったスポーツ大会のみとなった。 ・就労支援相談業務を行っており、令和2年度は1人を就職に結びつける等、地域社会へ貢献している。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減率		3%	3%			
	見積もり合せの実施回数		2件	6件			
	施設修繕数		2件	6件			
	備品等更新数		1件	1件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	II	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所轄課との連絡を密にして、適正な収支手続を実施しました。 ・ 利用者用のパソコンの配備、書籍、パンフレット等の提供、情報交換の場としての開放などサービス向上に努めました。 ・ 外部委託せず内製化（①清掃②除草剤散布③低木の剪定）等して、経費削減を行いました。 ・ 建物、設備、備品の管理については、日々に管理を行いました。 ・ ISO14001に従って、維持管理や環境の配慮に努めました。 ・ 見積り合せは①調理室エアコン②玄関軒先補修③事務所照明④事務所水道蛇口⑤男子トイレ⑥和室障子 ・ 備品は、草刈り機を更新しました。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度収支実績について、計上項目の記載ミスがあったため、正確な書類の作成を心掛けてほしい。 ・ 維持修繕を行ったものに関しては、全て見積合わせを行っており、経費の削減に努めているといえる。 ・ 施設の修繕数は計画値を大きく上回っており、適切な維持管理に努めている。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	適正人員の配置			職員2名	職員2名	
	職員の資質向上（OJT・研修）研修会開催数			4回	4回	
	研修会参加者数			各研修会に1人	4人（各研修会に1人）	
	勤務時間数（1人当たり）			40時間/週	40時間/週	
	経常収支比率			100%	106.7%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営に必要な人員配置と、利用者のパイプ役となる当施設経験者を配置しています。 ・ 各種講演会では積極的に参加したり、定期的にOJTを実施して、職員の資質向上に努めました。 ・ 健康保険、厚生年金保険料及び各種税金については、滞納はありません。 ・ 財政状況は、収支比率106.7%で問題ありません。 					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員配置に関しては、元大平勤労青少年ホーム利用者を配置することで、利用者目線に立ち運営ができる体制を取っている。 ・ 職員2人という少ない人数でも研修に一人ずつ参加する等、人員が不足していると感じさせずに管理運営できている。 ・ 短い周期で館長が変わるため、施設や業務に対しての知識が不足していると感じることがあった。 ・ 運営団体の財政状況も良好であり、施設の管理運営に問題は無いといえる。 					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	日常点検の実施（日常点検表）			稼働日実施	稼働日実施	
	事故発生数			0件	0件	
	消防訓練実施回数			年2回実施	年2回実施	
	個人情報の適正管理			年2回実施	年2回実施	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検の他、ホームの安全パトロールを年1回実施し、建物や備品の状況等が安全であるかチェックしました。 ・事故、災害、緊急時の対応・対策を整え、緊急連絡網の整備をしています。 ・消防訓練は、10月と2月に実施しています。 ・弊社の個人情報保護方針に基づき、適切に対応しています。 					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック表に基づき日常点検を行い、異常等を素早く発見できる体制を整えている。 ・消防用設備点検や消防訓練は計画通り実施している。 ・個人情報保護に関する勉強会を開催し全職員が参加することで、個人情報の適正管理を行い、個人情報等の漏洩0件を達成した。 					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	12	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	16	
評価点合計	100	91	76	
総合評価		A	B	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	環境整備株式会社
-------------	----------

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年2月期	令和2年2月期	平成31年2月期
資産総額	7,213,902,645	6,602,533,693	5,920,124,200
売上高	10,234,227,142	9,965,783,333	9,832,513,148
経常利益	993,355,399	887,981,389	838,729,128
当期利益	954,005,837	574,150,038	546,917,583
経常収支比率	110.7%	109.8%	109.3%

決算年次	令和3年2月期	令和2年2月期	平成31年2月期
経常費用	9,258,320,691	9,102,713,142	9,008,756,582
経常収益	10,251,676,090	9,990,694,531	9,847,485,710
経常収支比率	110.7%	109.8%	109.3%

○経常収益(営業収益+営業外収益)÷経常費用(営業費用+営業外費用)×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上げも年を経るごとに伸張しており、経常収支比率について平成30年度109.3%、令和元年度109.8%、令和2年度110.7%と安定しており、健全な財政状況となっています。

共同事業体構成団体名称	いすゞビルメンテナンス株式会社
-------------	-----------------

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和2年3月期	平成31年3月期	平成30年3月期
資産総額	2,597,059,000	2,200,210,000	2,045,365,000
売上高	5,623,123,000	4,308,883,000	4,252,900,000
経常利益	355,558,000	243,227,000	246,392,000
当期利益	250,474,000	159,788,800	161,365,000
経常収支比率	106.7%	106.0%	106.1%

決算年次	令和2年3月期	平成31年3月期	平成30年3月期
経常費用	5,309,334,000	4,074,695,000	4,019,170,000
経常収益	5,664,893,000	4,317,923,000	4,265,564,000
経常収支比率	106.7%	106.0%	106.1%

○経常収益(営業収益+営業外収益)÷経常費用(営業費用+営業外費用)×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上げも年を経るごとに伸張しており、経常収支比率についても平成30年度106.1%、平成31年度106.0%、令和2年度106.7%と安定しており、健全な財政状況となっています。